

国際ロータリー第2510地区  
2008～2009年度

ガバナー月信

No.8  
2009  
2

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510  
2008-2009  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

## 目次

### CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 世界理解月間にあたって  
—世界理解月間に因んで
- 4 ————— 私の“Rotary Notes”  
ロータリーのお稽古
- 7 ————— ガバナー補佐レポート  
若者の夢を共有しませんか
- 8 ————— 第3グループIM開催される
- 9 ————— ローターアクト北海道交流会を終えて
- 10 ————— 地区委員会報告
- 12 ————— ガバナー公式訪問
- 15 ————— ロータリー財団寄付  
米山記念奨学会寄付
- 16 ————— 白石欽一パストガバナー追悼
- 17 ————— 訃報／新入会員のご紹介  
文庫通信
- 18 ————— ロータリーカードのご案内
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー（2月・3月）
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



## ガバナーメッセージ

ロータリー創立記念日に、  
ロータリーを振り返る国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 矢橋 温郎  
(札幌西RC)

2月といえば、当地・札幌は雪まつり。今年で60回目になります。人間でいえば還暦です。私が還暦を迎える前、ホームクラブで提唱していたローターアクトの若者たちと一緒に大通公園の会場で雪像を作ったのを思い出します。「第11師団友の会」の関係で真駒内会場にも立ち寄りましたが、今では自衛隊前の会場自体が移転してしまいました。人間同様、イベントも60年生き長らえるに変化しないことはありません。

ロータリー・クラブができて、今月で104年です。白寿から5年経ちました。ポール・ハリスさんは明治元年生まれ。生きていれば140歳です。

何年前か前、ポール・ハリスさんのお墓へ行ってきました。米国・シカゴにあります。自分の親の墓参りもそこに外国人の墓参りとはと、身内に嘆かれたものです。当家の菩提寺は、岐阜県の大垣にあります。その寺は、所郁太郎の墓を守っています。この人物、幕末の志士です。司馬遼太郎の「美濃浪人」という作品にも登場します。元は矢橋郁太郎といいまして、私の遠縁にあたります。幕末の志士といっても、知ってる人の方が珍しい、知る人ぞ知る志士です。私もよく知っているわけではありません。なんでも井上馨の怪我を治療した医師でもあったそうです。そんな地味な志士のお墓ですが、幕末ファンにとってはかなりな史蹟になるそうで、お寺では記念撮影に訪れる愛好家をよく見かけます。ポール・ハリスさんのお墓も、同じようなものです。マウント・ホープ墓地をうろつく日本人が、地元の方々はどう映るかは別にして、「ロータリーの歴史と伝統の会」の一員としてはこれほどの史蹟はないわけです。

会ったことのないひとのお墓をお参りする動機に、シカゴでも岐阜でも差はありません。会ったことがない、会えなかったひとだからこそ、敬愛の念は強まります。幕末ファンとの違いは、同じロータリアンとして、創設者への敬意が加わる点でしょうか。それも、ロータリー・クラブへ入れたからこそ。

私は一度、札幌西ロータリー・クラブへの入会を断られました。いまだに、何故拒否されたのか、わかりません。当時はただ、審査の結果入会が認められなかった、としか伝えられませんでした。思い当たるフシはありません。さしあたって悪事を働いた覚えは無いし、恨みを買うような振る舞いをするタイプでもありません。考えられるとすれば、一業種一会員の原則に触れていたのか。当時の区域限界は明確なものでした。私の自宅と会社では、札幌西ロータリー・クラブ以外に入会を申請できません。ロータリーに入りたければ引っ越すか、ひたすら札幌西ロータリー・クラブが入れてくれるのを待つしかないわけです。

私の父は、岐阜で大垣ロータリー・クラブの創設幹事を務めました。幼少の頃、自宅で「奉仕の理想」をレコードで聴いた記憶もあります。父は電車を乗り継いで名古屋や三重までメーキャップに走っていました。チャーターナイトに呼ばれば、その土地の特産品を山ほど土産に持たされて帰ってきたものです。父の話から、ロータリーとは地域で立派に仕事をしている職業人の集まりだということにはわかっていました。同時に、将来自分もロータリーに入れるようになりたいものだと考えたものでした。入会を申請した頃、若くはありましたが業界内での仕事も任されていました。今思えば夢のような、右肩上がりの経済環境を享受し、商売は順調でした。そんな折、審査にはねられてみて、ロータリーとは斯くも敷居の高い団体かと思知らされました。どうしたら自分はロータリーへの入会を認めてもらえるのだろうか、悩んだものです。再び入会申請に踏み切るまで2、3年かかりました。ようやく入会が認められたのが1979年、45歳のときです。

一業種一会員だった頃のロータリーを懐かしむ方の話をよく聞きます。メーキャップが前後1週間だった頃のロータリーを懐かしむ方も時折、見受けます。雪まつりが60年で変化しているのだから、100年を超えたロータリーが変わらないわけがない。でも私は、私をロータリアンとして認めるにはまだ早いとはなつけた30年前のロータリーを、懐かしく思います。

## 世界理解月間にあたって

地区国際奉仕委員長 **阿部 弘**  
(札幌北RC)

国際奉仕の基本方針は、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」と、RI定款第4条に書かれております。世界理解月間というのは、国際間の理解を深めて世界平和と親善のために何ができるかを今一度問い質すためにあると思われま



現実には、世界のあちこちでテロや戦争、地震や水害などの自然災害。そして飢餓や栄養不良などの多くの問題が発生しております。それらについて理解を深め、行動を起こすことがロータリアンの責務と思えます。

地区の国際奉仕委員会の任務は、世界社会奉仕委員会（WCS）の活動を支援し、国際親善に努め、国際友好を推進することにあります。近年の第2510地区WCS活動は目覚しく、特筆に値します。すなわち、東南アジアの国々に対して、水事業、トイレ衛生事業、復興支援事業、教育事業等々の多くの実績を挙げ、世界に誇れる活躍ぶりと言えます。これらの事業を推進し実施し続けてきている出村知佳子委員長以下WCS委員会の皆様のご努力と、それらの事業に参加してこられた20を超えるクラブの皆様に心から敬意を表します。

しかしながら、国際奉仕は地区やクラブの行動だけではありません。国際奉仕の基本精神はロータリアン一人一人の行動にこそあると思えます。色々な事業へ参加できなくても外国へ行けなくても、身近でいくらでも国際奉仕の精神に沿った行動ができると思えます。外国からの旅行者、外国人留学生、日本に居住している外国の人々などに対して、親切と友情の手を差し伸べることは誰にでもできます。外国から日本に来て淋しがっている人、困っている人、悩んでいる人、悲しんでいる人など、そんな人がいたら近づいて友達になり、温かい手を差し伸べる心がロータリーの心と思えます。

## —世界理解月間—に因んで

地区世界社会奉仕（WCS）委員長 **出村知佳子**  
(札幌北RC)

2月は世界理解月間です。世界という大きなステージで活動しているロータリーのアクティビティーは多くありますが、世界という名がついている世界社会奉仕活動（以下WCS活動）の理解について触れさせていただきます。

皆様ご存じのように、WCS活動とは活動のステージを国内から世界（海外）へと移した社会奉仕活動です。各地区、各クラブがRIのテーマ、強調事項に沿った社会奉仕活動を発展途上国等にて行います。この中で国内での活動とは少し違った大切なポイントに気付かされることがあります。



2つ以上の国が「人種、文化、宗教」の違いなどを越え1つの事業を共に行い、この間にはロータリーのいう共通の軸を持つての素晴らしい友情も生まれます。この友情に基づいた事業は、決してこちら側の「ひとりよがり」や「押し付け」的な事業であってはならず、文化、宗教、風習、等の違いを理解した上で、相手国の抱えている問題を長期的視野にたった活動であることが大変重要です。当然ながら、こちらのスタイルの複雑な機械を贈ったり、金銭を贈ったりするものでもありません。また、この事業によって新たな被害が起きる事業であつてもいけません。



安全な水を確保する手伝いをする事は、子供達、村人達の生命の維持、健やかな成長につながります。教育、識字への支援は貧困の連鎖を止め、子供達の将来を大きく変える力を持っています。そして、これにより最も大きな喜びを得るのは、支援している私達支援国のロータリアンであることを忘れてはなりません。支援をして頂いているクラブの皆さん、相手国の地区やクラブの皆さんが実際のタイでの検証中に言われた、「ロータリアンでいて本当に良かった」という言葉に大きな感銘をうけたことを今も鮮明に覚えています。その言葉はまさにWCS事業から得た大きな喜びを物語っており、WCS活動に参加をされた各クラブの皆様、相手国のロータリアンに感謝の気持ちでいっぱいです。



WCS事業の実施、成功をはじめ、国際的な活動には相手をよく知り、理解し、遠慮なく議論をし合うことのできる強い信頼関係を作っていくことが大切であることを、WCS活動が教えてくれたことに深く感謝する毎日です。





## ロータリーのお稽古

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

### 《人生の峠を超えて／over the hill》

ポール・ハリスは1947年1月27日、79年にわたる生涯をシカゴで閉じました。自叙伝『わがロータリーへの道』はその翌年に発刊されました。ハリスは、その巻頭で「人生70余年」という年齢を／more than three “score” and ten years of life／と表現しています。聖書「詩篇」では「人生70年」の寿命を／three “score” and ten／と言います。“score”は、いわゆるスコア、得点のことですが20という数の単位を表わします。つまり／three “score” and ten／は $3 \times 20 + 10 = 70$ となります。

私もすでに70有余年の馬齢を重ねました。私のロータリーライフを振り返ってみると三度の転機がありました。クラブの幹事・会長時代、ガバナーのころ、パストガバナーになった今の三段階です。三段階の転機といえば皆さんの中にはヘーゲルの弁証法（発展の法則）の「正・反・合」を思い出される方もおられるでしょう。「正」とは物事の最初の未分化の状態、つぎに「反」はこの最初の状態が反省され、そして最後に「合」は正・反を踏まえて高い次元に至った状態で「三部法」とも言われます。ロータリーとは何かと問うと百人百様の答えが返ってきます。ロータリーは何かと答えることより、ロータリーは何をしているのかを語るほうが簡単です。ロータリーは部分的に理解しやすいがその本質は定義しがたいからです。ロータリー運動の本質は三部法で次のように定義できます。『ロータリーとは対立する政治哲学及び文化的価値の違いが唱える「否定」を潔しとせずこれを超越することによって、長きにわたって国際理解を妨げてきた障壁のすべてを乗り越える生き方である。ロータリーはこういうものと対立するのではなく、これらが持つ価値を止揚（矛盾する諸要素を、発展的に統一すること。アウフヘーベン）する。ロータリーは人間性を高める生き方である。人は他者への奉仕を通じてこそ完全な満足を見出すからである』この「三部法」と同じように日本にも物事の発展段階を示す言葉に利休の「守・破・離」という教えがあります。「守破離」とは稽古を積む課程、すなわち修行における三段階の順序を表す言葉です。まず師の流儀を習い、励み、次に独創性を養うことを重視した教えであります。一般的には、「守」は、ひたすら師の教えを守り、繰り返す段階。「破」とは、今まで学んで身につけた教えから一歩進めて概念を破り、独創性を養う段階。「離」は、自在の境地に至り、師の許を離れる段階として説明されます。「守・破・離」は芸道だけではなく学問にも経営にも技術にも、ロータリーにも、すべてにあてはまるものなのです。私も迷いながら歩いてきた自分の「ロータリーライフ」を利休のひそみに倣って振り返ってみます。

### 《「守」の頃》

入会して6年目でクラブ幹事になりました。クラブ運営の事務方として運営手続きに精通していなければなりません。ひたすら手続要覧と首っ引きの毎日でした。綱領はもちろん、定款・細則、2つのモットー、決議23-34、倫理訓を始めロータリ

一の管理運営に関する組織規定を頭に詰め込みました。しかしロータリーを習うには文献・資料のみでは絵に描いた餅に過ぎません。新クラブの結成や地区会合の設営、公式訪問に備えての準備などクラブ運営の実際面を学ぶには「善智識」が欠かせません。「善知識」とは、仏教の言葉で正しい道理を教え、導いてくれる人を指しています。私は札幌RCの故西條PGを勝手に自分の師・善智識と決めて、ロータリー全般について不明の点があればいつも教えを乞いました。西條PGは博学で小型コンピューターのような博覧強記な方でした。どんな質問に対してもたちどころに答えが出てまいりましたので「歩く手続要覧」と言われた方でした。また当時は中央大学教授、小堀憲介氏主宰の千種会というロータリーの勉強会が札幌で定期的開催されていました。ロータリー発生史、ロータリー思想の理論構造、ロータリー組織の理論構造などを体系的に学びました。私のロータリー理論の基礎は故西條PGと千種会によって築かれました。また地区の文献史料室委員長を務めたおかげで多くの貴重なロータリー文献に触れることができ、「ロータリー哲学とは何か」を知ることができました。クラブ会長になったのは、入会20年目の時でした。会長の任務としてロータリーの知識はもちろん必要ですが、知識よりむしろクラブの運営には人間学とでも言いましょうか、人情の機微を踏まえて「和して同ぜず」の精神の大切さを学びました。

#### 《「破」の頃》

ガバナーに推薦されたのは入会してから28年目の時でした。ガバナーの役目はRIとクラブを結ぶパイプ役です。つまり国際協議会で学んだRIの方針をクラブに伝え、クラブの情報をRIに伝えます。そのために公式訪問があります。ガバナーの最大の任務は公式訪問に尽きます。地区内73クラブを回りましたがそれぞれのクラブは独自の伝統と家風を持っています。各クラブは標準クラブ定款に基づき管理されることになっています。しかしロータリーは社交クラブと呼ばれる社会構造の中で機能している社会性の一番弱いもので、本来それに参加するも参加しないもその構成メンバーの自由意志です。われわれは世のため人のために奉仕の理想を掲げて団結していかなければならないというロータリー運動の崇高性の故にロータリー運動が社交クラブ性を失ってはなりません。ですからロータリーの定款細則などを、国家法を解釈するように解釈したら間違いです。RIの基本方針（1962—03）には『管理に関する定款及び手続き上の制限は、ロータリーの根本的かつ比類のない特徴を保持するために必要な最小限度にとどめられている。このような規定内にあつては、特に地方的実情において、国際ロータリーの方針を解釈し実行するにあたり最大の融通性を認めるものである』と明記されています。比類無き特徴とはもうすでに皆さん御承知の通り職業分類と例会出席の二つです。言い換えるとこの二つだけはロータリーのバックボーン（中核思想）ですから定款に従わなければなりません。RIの管理運営の根底にある基本原則は、加盟クラブの大幅な自主性であります。特に地元のレベルでは、RIの方針の解釈と実施において最大限の柔軟性が認められています。クラブ幹事の時代は組織規定を忠実に学ぶ「守」の時期でした。しかしガバナー公式訪問で学んだことは、「人見て法説け」という柔軟な悟りでした。公式訪問の際、会長・幹事懇談会での最大の問題は「会員減少」でした。ロータリーが魅力を失ったことも事実ですが、なによりも経済構造の変化が大きな要因です。その上過疎化と高齢化が進み、「限界集落」が道内に570もあります。限界集落とは過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のことを指します。「集落」とロータリークラブは違いますが、65歳以上の高齢者がクラブの過半数を占める状態は「限界ロータリークラブ」といえます。また、限界集落を超えた集落は「超限界集落」から「消滅集落」へと向か

います。今まで増強は「ピラミッド型」の人口構成を前提として設計されてきました。しかし我が国の人口構成はすでに「提灯型」へと変化し、今や「すり鉢型」へと変わりつつあります。ロータリーを支えていた地域経済そのものが激しく変化しようとしています。少子高齢化、インターネット、グローバル化の三つがさらに不確実性を加速させています。いまや、地域社会活性化のためにはロータリアン個々の技術の良さだけでは不十分で、従来のビジネスの枠を超えた大胆な改革が必要です。我々はロータリアンである以前に地域社会のより優れた職業人でなければなりません。地盤低下の今、CLPの導入だけが果してクラブ活性化の特効薬となりうるでしょうか。

### 《離の時代》

パストガバナーになりRIレベルでロータリー運動の「問題点」に触れる機会が多くなりました。

第一にロータリーは巨大化し、官僚化しました。およそ人間の営む組織というのは、政府でもあれ民間団体であれ大きくなればなるほど官僚化します。実際にこなさなければならない仕事量に関係なく、官僚の数はどんどん増え続けていくというもので、もちろん官僚が増えれば、その分仕事がなければなりません。それは実際に必要ではない仕事を創造することでまかなわれます。その仕事を正当化するために隠れ蓑としてやたらに委員会や審議会を作る——今のロータリーも全く同じです。しかし、組織管理の体系として、官僚制に勝るものがないというのも実状です。そして今のRIにとって最大の関心事は会員増強・退会防止です。世界的な会員減少にRIは危機感を覚えています。肝心のロータリー哲学・職業奉仕などの人作り運動は全く無関心です。

第二に、そもそも資本主義経済の成熟した先進工業国とアフリカやインドのロータリーを同じ定款で統治しようというのが間違っています。多額の援助金を出す国と、それを求める国とでは金銭感覚が全く違います。まして先進国の会員は減少して、援助を要する国の会員だけ増えていくとしたらどうなるでしょう。ロータリーの進路を決める規定審議会は援助を要する国の多数の会員の主張が主流となります。以前はロータリーの知識を追い求めました。しかしパストガバナーになって道元禅師の「尋言逐語の解行」(じんげんちくごのげぎよう)と「回光返照の退歩」(えこうへんじょうのたいほ)という言葉の大切さを知ようになりました。尋言逐語の解行とは、他人の言葉あるいは理論・思想のみを追っかけまわし、それに従って物事を考え、理解してゆくことです。回光返照の退歩とは、そのような追従的な理解の仕方から一歩退いて、いわば「意識の光」を、言葉や理論から、自らの心の中に起こる出来事に回らして、それを照らし出し、その照らし出されたその当体とは何であるのかと自らが直接、自らの中の出来事を観察していく、そのような生き方を言います。つまり単なる知識、物知りではない。物と親身に交わる、物事と自分が出会ったとき、身に感じて自分の中に起こる知的な働き、それが考えるということ。とすれば物を外から知ろうとするいわゆる物知りは、まるで考えるということをしていないと気付くはず。苦勞しないで分かったと思うのは、知識が一つ増えただけのことで、そこには何の発明もないことに気付かないでいます。私たちがロータリーに出会ったとき、何を感じ、何を思い、どんな変化が自分の中に起こったか、それを自問自答してみなければロータリーの理想は自分の血肉となりません。まず自分に問うことです。問いを発見することです。ロータリー運動の一番大事なところは、「ロータリーとは何か」を自問し、自分で発見する以外にはないと最近気付くようになりました。





## 若者の夢を共有しませんか

地区ガバナー補佐（第12グループ担当）

**板谷 剛**  
(苫小牧RC)

■ ■ ■  
今年の正月は久しぶりにゆっくりした時間を持つことができました。昨年暮れに札幌の病院に入院して手術を受けましたので、そのリハビリの為にあまり動き回らないようにと医者に言われた事もあって大人しく家の中におりました。

夜中のテレビ番組に「関口知宏が行くヨーロッパの旅」の再放送がありました。彼の番組は昨年見た「中国編」も大変良かった。今回の放送でもつくづく考えさせられたところがたくさん有り、再認識させられました。一人の何処にでも居そうな若者が外国の町々を汽車に乗って訪ね回りますが、それもあまり大きくはない町も含めて。その訪ねた町々で多くの人々との触れ合いがまことに素晴らしい、の一言に尽きます。彼の才能によるところが大きいとは思いますが、偶然出会った人々との色々な会話（英会話ならかなりイケる）、そして歌を歌い、踊り、作詞作曲し、絵を描き、自然に触れ、その素晴らしさに感動し涙を流す。こんな素直で純粋な日本人が、世界に通じるグローバルな日本の若者がいることが、私に大いなる感動を与えてくれました。

受験勉強に明け暮れ、人より少しでもいい学校に入り、社会に出て少しでも高い位置に就き、地位と名声と高収入を得たい。こんな考えの若者を是とする世の中が出来上がってしまったら、日本はつまらない貧相な国になってしまうのではないのでしょうか。

ここからですが、私の独り善がりの独善的な意見になってしまいますが聞いて下さい。苫小牧ロータリークラブの行っている奨学金制度、高校生一学年3名、計9名の学生さんに、永い間月1万円程度の奨学金を支給しておりました。一人の学生さんにとっては小額かもしれませんが、クラブにとって年間百万円程度の金額が必要になります。その在り方について考え方を改めた方が良くと考え、4年くらい前に現在支給している学生さんが終わったら今までの方法を一旦中止する。勉強をしたいが学費が大変とか、奨学金の性質から言ってそのことも大切な事ですが、現実にはその該当者はあまり多くはおりませんでした。それよりも走らせたなら誰よりも早い、球を投げさせたら誰よりも遠くへ投げられる、相撲を取ったら誰よりも強い、歌を歌わせたら誰よりも上手い、字を書かせたら、絵を描かせたら誰よりも上手い、そんな誰でも持っている可能性や才能を發揮させることが出来る為に、我々ロータリアンが少しばかりの手助けが出来ないだろうか、感受性豊かな若者たちを少しでも増やしたい、そんな考えから如何なる団体、個人を問わず、素晴らしい業績を発表したり、出場したりする場合の経費面での手助けが必要な場合に限り、奨学の意味を含めて、奨励金を出す事にしております。勿論勉学に関しても同じです。人は皆色々な才能、能力を持っており、それを素直に表現し、皆が認め育て合い、共感し合う素直な社会で有りたい、そんな社会も必要ではないのかと思います。

これからは色々な面で世界に通じる若者達を数多く輩出しなければなりません。そのような意味も含めて我々ロータリアンも考えを新たにせねばならないと思います。

## 第3グループIM開催される

地区ガバナー補佐（第3グループ担当）

吉野 顕隆

（栗沢RC）

去る11月29日（土）岩見沢市栗沢市民センターを会場に、栗沢ロータリークラブをホストとして、渡辺岩見沢市長、矢橋ガバナーをはじめ、域内200名を超えるロータリアンの参加を得て第3グループのIMが開催されました。

環境保全と人間尊重の地球社会を築いていくために、ロータリアンとしていま何をなすべきなのかを「地域に息づく活動でロータリーの夢をかたちに」をテーマに話し合われました。

基調講演として、帯広畜産大学西崎邦夫特任教授から「地球温暖化とこれから」と題しての問題提起を戴いた後、グループ内8クラブよりテーマに基づいた活動事例発表が行われ、次代を担う青少年育成に関しては、中学生野球大会を立ち上げてそのレベルアップと、心身の健全育成を目指して18年になるクラブ、また独自に高校生奨学金制度を設置して、33年にわたり多くの少年の夢実現に力を注いできたクラブ、更にはあらゆる機会を捉えての子供たちとの交流イベントの開催や、学校を通じての教育資金支援に多くの共感を呼んでいました。地域活動については福祉施設への訪問・支援や相互理解の促進、交通安全運動に対する積極的な取り組みや防犯パトロールなど、安全・安心の街づくりに汗を流す姿が浮かび上がっていました。そして、環境問題についても保全活動に対する学習から始まって、ホテル生息地（江別早苗別川）の清掃活動や宮島沼水鳥湿地センター（美唄）への支援、街路清掃や植樹など地域と連携しながら地道に自然保護に取り組む報告がなされたのは、まさに地域に息づく活動に他ならないと思います。この交流を機会に、地域密着に向けた運動が益々盛んになっていくことが期待されています。

真摯な学習を済ませた後は、IMのいまひとつの眼目であります親睦懇親会が盛大に開催され、久しぶりに顔を合わせた会員同士が、日頃の情報交換の中から更に議論の深化がなされていたようであります。

いま、人間社会と自然との共生が声高に論ぜられています。しかし、これは飽くまで人間社会からの一方的な論理で成り立っているような感じがいたします。自然にやさしく人にもやさしい地域社会をつくるために、私たちロータリアンはどのようなアクションを起こせばいいのか、重い課題を胸に会場を後にしたのでした。



## ローターアクト北海道交流会を終えて

第2510地区ローターアクト

地区代表 布施 年啓

(赤平RAC)

今回の北海道交流会は11月22日から23日に渡り北海道最東の根室市にて開催されました。参加したアクターの人数は第2510地区より21名、第2500地区より87名の計108名と年々減少傾向にありますが、アクターらしく、少ない人数ながらも北海道を盛り上げようとする熱意で楽しく学び、そしておおいに交流できた今回の交流会だったと振り返って感じております。

1日目は厳粛に行われた開会式を終え、分科会へ…バスで2班に別れ納沙布岬へ向かいました。地元のガイドからの説明を受けながら北方館（北方領土資料館）へと入館しました。そこでは北方領土の歴史が写真や資料で詳しく説明されており、今までほとんど知らなかった北方領土に関する細かい歴史や返還に向けてどのような活動をしてきたかを学ぶ事が出来ました。今後は、微力ながらも返還に向け協力して行きたいと思っております。

懇親会では、第2500地区、第2510地区が絶妙にシャッフルされたテーブルになっており、新人会員が新しい名刺を交換するといったような初々しい場面も少なくはなかったと思っております。ゲーム大会ではテーブル対抗戦で景品めざし一丸となりより一層親睦が深まりました。

2日目はスポーツ交流会から始まりました。種目はミニバレーで、運動が苦手な人も得意な人もチームワークでお互いを励まし助け合い短い時間ではありましたが、とてもいい汗を流させてもらいました。スポーツ交流会後すぐに閉会式へと移りました。次年度開催は千歳RACがホストクラブとなり第2510地区が開催することとなりますが、今回7回目となります北海道交流会を盛大に開催した根室RACを中心とした第2500地区の皆様方の勢いをそのままに第8回も開催されることを楽しみにしております。

最後になりましたが、現在全国的にRACの仲間がどんどん減ってきております。非常に残念なことではありますが、この状況を何とか乗り越えなければなりません。我々アクターを心待ちにしている人たちのためにも、アクトの火を絶やすことは絶対に防がなければなりません。これからもアクターらしく共に活動していきましょう。



## 地区委員会報告

■委員会名： 地区補助金委員会

■委員長： 須田 義雄

■日 時： 平成20年12月10日（水）

■会 場： 札幌パークホテル 桃源郷

■出席人数： 9人

1. 12月10日（水）矢橋温郎ガバナー、岩城秀晴ロータリー財団委員長、補助金委員会、補助金監督委員会の委員参加のもとに11件の申請書を審議いたしました。

2. ロータリー財団地域セミナーハンドブック最新号（2008年11月19日）に記載されている地区補助金に相応しいプロジェクトに準じ、

これに各クラブの最近3年間のロータリー財団寄付金の金額を考慮して審査が行われました。毎年、地区補助金の使用基準が厳しくなり、詳細は同書52から57ページに記載されておりこれらを参考にしました。

3. 今年度の予算は33,000ドルであります。急激な円高により実際受け取る金額は昨年より70万円程減額になる予定で、290万円（1月のロータリーレート：88円）の予算となりました。

4. 12月5日までの申請件数は、例年より多く11件を数え金額も約550万円に達しました。内容別にはサッカーなどスポーツ大会などの参加と援助、植樹、環境保全を目的とする緑化運動（装置使用）、青少年のために森の中のキッズキャンプに木道を作ること、車のアイドリングストップ運動など、CO<sub>2</sub>削減を目的としたもので、いずれも直接会員が参加する姿勢がみられました。大きなキャンペーン運動では、今話題になっているビブワクチン接種促進運動、また、花時計の設置、高校オーケストラへの援助、絵図・古文書の寄贈などの11点でありました。

5. 今後後期申請分（6月30日）の予算も残さなければならぬため、採用及び金額決定には多くの意見が出され、11件中10件が採用になりました。しかし、上述の予算の関係上各クラブ共申請金額をかなり減額せざるを得ませんでした。最終的にガバナー、財団委員長の了解を得て決定致しました。

6. 後期予算を若干保留しましたので、未だ申請していないクラブは下半期5月末日まで申請して頂く様、お願いいたします。



- 委員会名： GSE委員会
- 日 時： 平成20年12月18日（木）18：00～
- 会 場： 西鶴三条店（札幌市中央区南3条西4丁目 TEL 219-8088）
- 出席者： 岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、沼舘、石丸、泉、トーキル各委員  
岩城財団委員長、奥貫チームリーダー、神部地区幹事

## 議事内容

1. 派遣メンバー募集について、幾人から問い合わせがあるが、まだ少ないので声掛けを行なうことを委員全員で行なうこと。
2. マスコミに募集内容を取り上げていただく方策をとること。
3. 選考メンバーは、ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員長、リーダー、元リーダーおよびGSE委員で構成すること。
4. 選考は面接によることとするが、その詳細は、来月の委員会までに石丸委員がとりまとめること。
5. 相手のRI2360地区も申請を行い、これで両地区とも準備は整った。
6. 次年度のGSE委員に、札幌西RCより宮崎会員が就任することに受諾を得ていること
7. 小樽RCにもGSE委員選出を要請していること。
8. 次年度GSE委員会の委員長は、沼舘委員が引き受けること。
9. 次回は2009年1月18日に行なうこと。

- 委員会名： GSE委員会
- 日 時： 平成21年1月18日（日）15：00～
- 会 場： ウェルシティ札幌厚生年金会館（札幌市中央区北1条西11丁目 TEL 231-9551）
- 出席者： 岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、沼舘、石丸、泉、トーキル各委員  
岩城財団委員長、奥貫チームリーダー、神部地区幹事

## 議事内容

1. 派遣メンバー募集について、15日に締め切ったが14名が応募してきたこと。
2. その他にも応募の問い合わせがあったが、資格理由などで断ったこと。
3. 2月1日の面接対象者の選考を行なったこと。
4. 選考手続きについて、石丸委員から説明があり、役割分担を行なったこと。
5. 次年度のGSE委員に、北広島RCより馬場会員が就任することに受諾を得ていること。
6. 次年度GSE委員会の副委員長に石丸委員が指名され受諾したこと。
7. 次年度の交換事業について必要資金が確保されるよう地区幹事に要請をおこなうこと。

- 委員会名： IC委員会（ホームページ講習会）
- 日 時： 平成21年1月24日（土）14：00～
- 会 場： 工学院専門学校（登別市札内町184-3）
- 出席者： 光銭委員長、坂井副委員長、大坂、堀江、和田、船越、各委員  
若木第9グループガバナー補佐、石丸地区幹事
- ホストクラブ： 登別RC 仲川会長、土生幹事、石井会員
- 参加クラブ： 森RC、札幌RC、蘭越RC、栗沢RC、北斗RC

地区内の5クラブの参加を得て、IC委員会として3回目のホームページ作成の為の講習会が開催されました。堀江委員による巧みな説明で2時間があっという間に過ぎ、有意義な会でした。講習会後場所を移し登別RC、白老RCの方々とIC委員会のメンバーで懇親会も楽しく開催されました。  
登別RCの皆様にお世話になり有難うございました。



## ガバナー公式訪問

## 苫小牧北ロータリークラブ

10月14日（火）

10月14日（火）グランドホテルニュー王子にて廣島会長、橋幹事、山田副幹事と共に矢橋ガバナー、板谷ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎え致しました。午前10時からの会長・幹事会はクラブの現況報告をし、和やかな懇談となりました。11時からのクラブ協議会では活発な意見交換が行われ、予定時間を超える会議となりました。

例会でのガバナーの卓話では今年度の地区の方針、ポリオ・プラス、会員増強等のお話を戴きました。例会終了後、記念写真撮影を行い大変有意義な公式訪問となりました。



## 岩見沢ロータリークラブ

10月16日（木）

例年ですと7月の早い時期にガバナー公式訪問となりますが今年度はCLPにより例会の曜日が見直され金曜日より木曜日に変更となりました。矢橋ガバナーには第52番目のクラブとして当岩見沢ロータリークラブをご訪問戴きました。クラブ会員一同待ちにまつた公式訪問であります。

午前10時より吉野第3グループ担当ガバナー補佐、本田ガバナー補佐幹事を交え、会長・幹事懇談会にて以前、岩見沢RCより選出の（故）望月武義ガバナーのお話を戴きました。又、CLPやRI会長の強調事項等をお伺いしました。

11時よりクラブ協議会を開催し各委員長より活動方針や今年度の活動状況をご報告し、矢橋ガバナーより的確なアドバイスを戴きました。

12時30分より多くの会員参加の下、例会が開催され吉野ガバナー補佐よりご紹介を戴き矢橋ガバナーの熱意をクラブ会員一同感じとり、なごやかなうちに公式訪問を終了いたしました。



## 函館セントラルロータリークラブ

10月21日（火）

10月21日矢橋温郎ガバナー、上野一義ガバナー補佐、大金武夫地区代表幹事をお迎えし16時より会長・幹事懇談会、17時30分クラブアッセンブリー、18時30分夜間例会・懇親会のプログラムで開催いたしました。クラブアッセンブリーでは各委員長から今年度の活動計画が発表された後、矢橋ガバナーの講評でアドバイスを戴き終了後、記念撮影を行いました。

例会では矢橋ガバナーに講話をお願いし、新会員を始め若い会員の多い創立4年目のクラブへ大変参考になるお話をわかりやすくご指導戴きました。19時20分からの懇親会では地区大会直前の公式訪問ということもあり、ゆっくりと歓談した後、ガバナーに楽しんで戴こうと全員参加でゲームなどを行い和やかなうちに公式訪問を終了いたしました。



## 白老ロータリークラブ

10月28日（火）

10月28日、第2510地区矢橋温郎ガバナー、第12グループ板谷剛ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問は10時からの会長・幹事会に始まり、続くクラブ協議会では、WCS事業への参加、ポリオ・プラスについてなど活発な意見も出され、ガバナーより適切なお指導、ご助言を戴きました。板谷ガバナー補佐には、当クラブのニコニコボックスの発表について、「これが本来の姿で、それを行えるちょうど良い人数のクラブ」とお褒め戴きました。また、当クラブ例会では、ロータリーソングに続き、今年度地区目標である「4つのテスト」を毎回斉唱しております。このことに対し、ガバナー講評の中でお言葉を戴きました。地区大会が終わって間もない、お疲れのとれない時期の公式訪問、本当にありがとうございました。



あいにくの強風の中、例会に先立ち、当白老ロータリークラブの建物に隣接するポロトコタンにて、紅葉の木々をバックに記念写真を撮影しました。

## 新札幌ロータリークラブ

10月29日（水）

10月29日、矢橋ガバナー、土谷ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問が行われ、10時からの会長・幹事懇談会の後、クラブ協議会が行われ、各クラブ委員長より活動状況を発表させて戴きました。矢橋ガバナーからはクラブ運営、各委員会活動の内容についての細かな質問やご指導を戴き大変有意義なクラブ協議会を行うことが出来ました。その後12時30分より例会が行われ、矢橋ガバナーより、李東建RI会長の強調事項、財団・米山、ポリオ・プラス、CLP等に関するお話をわかりやすく講話して戴きました。



緊張した雰囲気の中でのガバナー公式訪問ではありましたが、当会員にとって充実した一日であったと思います。矢橋ガバナー有難うございました。

## 千歳ロータリークラブ

10月30日（木）

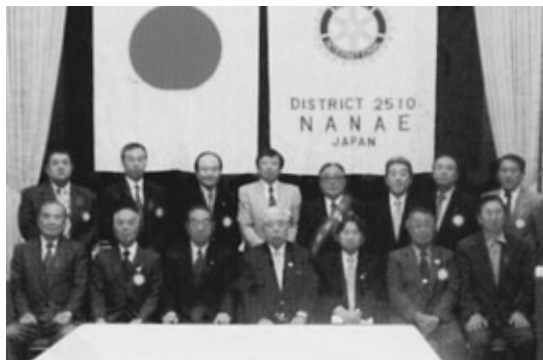
10月30日（木）矢橋ガバナー、羽芝第7グループガバナー補佐をお迎えし、10時半より会長・幹事会を開催しました。当クラブでは、クラブ協議会は割愛し、会長・幹事会の中でクラブの概要をお話し、ご講評を仰ぎました。当クラブの活動については概ね評価を戴くと共に、健康委員会、定款細則委員会の活動内容について質問がありました。次いで、12時半より例会にご出席戴き、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドル拠出、セクハラ保険、李東建RI会長の強調事項、職業倫理等について、予定時間を上回る熱意に溢れたご講話を戴き、会員一同眼から鱗の有意義な時間を過ごすことができました。結びに、当クラブ所属の佐藤パストガバナーより謝辞を申し上げ、無事ガバナー公式訪問を終了しました。



七飯ロータリークラブ

11月4日（火）

本日、矢橋温郎ガバナー、大金武夫地区代表幹事、及び当クラブの上野一義ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われ、16時から柴田会長、伊藤幹事、菅原会長エレクトによる懇談会を開催しました。



16名の少人数クラブで行っていること、例会は毎回和やかに進んでいるし、テーブルを前に出席会員の笑顔を見ながら会食と会話にと弾み、又、社会奉仕活動のカレンダー市、教育振興への活動等を説明しました。16時30分から七飯町長への表敬方面をして戴き、前日の七飯町文化祭の時、教育振興への活動として戴いた感謝状の御礼をしながらロータリーの活動をして参りました。矢橋ガバナーは町と密接にしているクラブですねとのことでした。17時30分からクラブ協議会を開催し、四大奉仕委員長から年度目標などを説明しました。18時30分から例会をし、矢橋ガバナー、大金地区代表幹事から地区目標等の説明をして戴きました。当クラブもそれぞれの活動を達成に向けて行きたいと思えます。

函館北ロータリークラブ

11月5日（水）

11月5日（水）矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎えして、10時より会長・幹事懇談会を開催致しました。1954年9月26日の台風15号（洞爺丸台風）が引き起こした暴風と高波により洞爺丸をはじめ5隻が転覆沈没という海難史上、1912年のタイタニック号沈没につぐ世界第2の規模で、死者、行方不明1,430人の海難事故でありました。（矢橋ガバナーは、この事故の1週間前に北海道国体のために洞爺丸に乗船したそうです）



当クラブは、社会奉仕事業として例年この洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕を諸先輩の意思を引き継ぎ行って参りました。本年は45周年の節目とし北斗市様のご協力も得て、この洞爺丸慰霊碑の改修工事を無事行い、海難事故から54年経過した今も忘れることの無いよう継続を致しております。

また、函館ハーフマラソンへの協賛（給水場5ヶ所の紙コップ、スポンジの提供）も継続して行くことを矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事に報告を致しました。引き続き11時よりクラブ協議会を開催し、各委員長より活動報告を行い無事終了。また、例会では矢橋ガバナーより卓話を頂き国際大会への一人でも多くの参加を望むというお言葉で終了いたしました。

北斗ロータリークラブ

11月5日（水）

11月5日、矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。午後4時30分より会長・幹事懇談会、クラブ協議会では貴重なご意見、アドバイスを戴き、また例会の卓話ではRI会長の「夢をかたちに」、強調事項、米山・財団の近況報告、ポリオ・プラス、CLP等、長き時間にわたりお話を戴きました。



当クラブは創立からまだ12年と若いクラブですので大変有意義な時間を過ごせたことに会員一同感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別西RC	島崎 修	会員(1回)	12月12日
岩見沢RC	佐藤 紀征	会員(7回)	12月26日
札幌北RC	福田十太郎	会員(2回)	12月5日
	樋口 正明	会員(3回)	12月5日
札幌西RC	伏木 忠了	会員(3回)	12月12日
	高下 泰三	会員(4回)	12月12日
札幌西北RC	小川 真治	会員(3回)	12月5日
札幌東RC	関根 光晶	会員(1回)	12月12日
	白石 正勝	会員(4回)	12月12日
	広瀬 清	会員(4回)	12月30日
札幌幌南RC	土谷 享	会員(3回)	12月26日
	三国 信樹	会員(1回)	12月26日
	内田 豊	会員(1回)	12月26日
札幌南RC	南舘 全次	会員(2回)	12月5日
余市RC	谷川 淑郎	会員(4回)	12月12日
室蘭RC	木下 博	会員(1回)	12月5日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	関根 光晶	会員	12月12日
余市RC	本多 宏行	会員	12月12日
	清水 義信	会員	12月12日
千歳セントラルRC	須藤 丈	会員	12月5日
室蘭RC	吉澤 政彦	会員	12月5日
函館亀田RC	円馬 正博	会員	12月5日
	金澤 浩幸	会員	12月5日
	笹川 哲二	会員	12月5日
白老RC	山手 康	会員	12月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

留萌RC	河部 勲	会員(1回)	12月25日
	関野 政人	会員(2回)	12月25日
	田中 公一	会員(9回)	12月25日
栗沢RC	井形 昇	会員(5回)	12月18日
札幌はまなすRC	大石 春雄	会員(5回)	12月22日
札幌西北RC	横山 勲	会員(1回)	12月5日
札幌東RC	荒岡幹史郎	会員(4回)	12月25日
	広瀬 清	会員(5回)	12月25日
	西村 孝治	会員(1回)	12月25日
	奥村 義夫	会員(6回)	12月29日
	平 公夫	会員(4回)	12月25日
札幌真駒内RC	金坂 和正	会員(5回)	12月5日
	中原 孝	会員(7回)	12月5日
	吉村 洋吉	会員(19回)	12月5日
札幌南RC	岩城 秀晴	会員(10回)	12月24日
余市RC	本多 宏行	会員(1回)	12月11日
室蘭RC	木下 博	会員(7回)	12月5日
	松岡 健一	会員(6回)	12月5日
室蘭東RC	遊佐 潤	会員(1回)	12月26日
室蘭北RC	及川 力	会員(1回)	12月26日

函館亀田RC	黒川 則男	会員(2回)	12月1日
	松田 武	会員(1回)	12月1日
函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員(4回)	12月10日
函館五稜郭RC	林 真彦	会員(1回)	12月5日
	石尾 清広	会員(3回)	12月5日
	川上 誠	会員(3回)	12月5日
	河村 隆平	会員(4回)	12月5日
	菊地 喜久	会員(3回)	12月5日
	後平幸太郎	会員(3回)	12月5日
	小坂 三男	会員(3回)	12月5日
	藪下 明	会員(3回)	12月5日
函館北RC	小笠原 孝	会員(11回)	12月3日

■米山功労クラブ

札幌東RC	35回	12月25日
余市RC	3回	12月11日
室蘭RC	7回	12月5日
函館五稜郭RC	17回	12月5日
苫小牧北RC	15回	12月26日

# 白石欽一パストガバナー 逝く

2008年11月6日逝去  
(享年89歳)



パストガバナー  
白石 欽一 氏

■生年月日(出身地) 1920年1月19日(神戸市)  
1941年12月 関西学院大学卒業

■ロータリー歴

札幌手稲ロータリークラブ創立会員(初代幹事)  
1977~78年度 クラブ会長  
1983~84年度 RI第251地区 国際奉仕委員長  
1985~86年度 " 第4分区代理  
1986~87年度 " 拡大・増強委員長  
1990~91年度 RI第2510地区 ガバナー  
1994~98年度 ロータリー米山記念奨学会理事

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者マルチプル

## 追悼記

### 白石欽一名誉会員を偲んで

札幌手稲ロータリークラブ  
会長 栗津健太郎

白石欽一大先輩が2008年11月6日89歳の生涯をひっそりととじました。故人は札幌手稲ロータリークラブのチャーターメンバーであり、第2510地区のパストガバナーであり、現在は名誉会員でありました。故人が我々に教えてくださったロータリー精神は計り知れないものがあります。白石さんは生前、万が一の場合、誰にも知らせるな、供花、香料は無用のことと置いていたそうです。白石さんのお人柄がストレートに伝わってくる話です。札幌手稲ロータリークラブにとってなにものにも変えがたい大切な方を失いました。この喪失感と悲しみにただ涙するのみです。

白石大先輩長い間、我々を導いてくださりましてありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。 合掌

### 白石欽一名誉会員のご冥福をお祈り申し上げます

札幌手稲ロータリークラブ  
副会長 石田 誠

11月25日午後、喪中ががきを見て、パストガバナーで当クラブの名誉会員であります白石欽一様のご逝去されましたことを初めて知りました。手稲ロータリークラブ会員一同突然の御悲報に接し驚きのほかございません。ご在世中は、当クラブは勿論、地区においても多大なご功績を残された白石欽一様に心よりお悔やみ申し上げます。

早速、奥様に電話をして、ご自宅を弔問、30分余りお話をお伺いしましたが、奥様も84歳のご高齢に加えて、看病疲れと精神的なショックのせいでしょうか、入院期間も病院名も忘れておられました。白石さんは亡くなる1週間前の10月31日に一時帰宅され、介護マンション

内の知人らと夕食を共にしながら歓談し、周囲の人たちを笑わせるなど非常に明るくお元気だったそうです。奥様と一夜を共にし、翌日病院に戻りましたが、その後、病状が急変し、5日後の11月6日午後3時40分頃、帰らぬ人となりました。死因は前立腺がんの末期的症状によるものでした。葬儀は身内の方とマンションの人たちでマンション内の仮斎場で営まれました。

28日夜、白石さんの姪御さんからお電話を頂きましたが、白石さんの遺言で「誰にも知らせるな、香典も受け取るな」といわれていたそうです。亡くなられた病院は北海道泌尿器科記念病院で入院期間は9月から2か月だったそうです。白石さんにはお子さんがいらっしやいませんでしたので、東京にお住まいの姪御さんが喪中ががきも用意され東京から郵送されました。

私たち会員一同は、40年の長きに亘り、ご指導ご交誼を賜りながら、ご葬儀に列席することができませんでしたので、この場で白石欽一様の安らかなお眠りとご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

### 白石欽一名誉会員を偲んで

札幌手稲ロータリークラブ  
山地 庸夫

漁業の網元から建材業に転じ、偶々私と同業の道に進まれた白石さん。わが手稲ロータリークラブの創立会員になったのがご縁の始まりで、永く人生を共に歩んで来ました。あなたが荣誉ある地区ガバナーの時は事務所として私共の室を使って下さり、あなたの指名で私があげぼのRC創立の特別代表となり、その他些事ながらも例会の場所移動話の時など諸々好意を頂いたことを忘れません。あなたが名誉会員になって聞けなくなりましたが、嘗てあなたのスピーチには大いに共感があり、お人柄も感じて、いつも善いお話だなと耳を傾けて聴いたのが、懐かしく想起されます。これからも折りにふれ多くの事を思い出すでしょう。有難う

計 報



**堀 好夫**  
(函館亀田RC)

2008年12月10日  
ご逝去(享年57歳)

【ロータリー歴】  
1989年10月2日 入会  
1994~1995年度 幹事  
2001~2002年度 会長  
その他各委員長歴任  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



**瀧野 敏彌**  
(函館五稜郭RC)

2008年12月10日  
ご逝去(享年85歳)

【ロータリー歴】  
1970年1月24日 入会(チャーターメンバー)  
1972~1973年度 会長  
1985~1986年度 第11分区区分代理  
2000年12月より名誉会員  
ポール・ハリス・フェロー



**笹木 和幸**  
(滝川RC)

2008年11月27日  
ご逝去(享年64歳)

【ロータリー歴】  
1985年6月30日 入会  
1989~1990年度 クラブ職業奉仕委員長  
1994~1995年度 幹事  
1999~2000年度 副会長  
2000~2001年度 会長エレクト  
2001~2002年度 会長  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)、  
ベネファクター  
米山功労者マルチプル(4回)

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



**秋山 集一**  
(苫小牧北RC)

■入会/ 12月9日  
■職業分類/ 印章



**遠藤 浩一**  
(岩見沢RC)

■入会/ 12月11日  
■職業分類/ 団体一農業協同組合



**豊田 健一**  
(苫小牧北RC)

■入会/ 12月16日  
■職業分類/ 泌尿器科医

**文 庫 通 信** (256号)

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

- 最近のロータリー情報源**
- ◎ [ロータリー入門書 2008~2009年度版]  
前原勝樹・重田政信 2008 195p  
[申込先: 北斗企画 TEL (03) 3811-4350]
  - ◎ [ロータリー情報集]  
熊本グリーンR.C. 2008 388p  
[申込先: 熊本グリーンR.C. TEL (096) 354-4521]
  - ◎ [ROTARY世界と日本]  
ロータリーの友 2008 15p  
[申込先: ロータリーの友 TEL (03) 3436-6651]
  - ◎ [素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝①]  
戸田 孝 2006 207p  
[申込先: 八尾R.C. TEL (072) 991-2129]
  - ◎ [純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報) Part VII]  
深川純一 2008 32p  
[申込先: 伊丹R.C. TEL (072) 773-1375]
  - ◎ [ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)]  
成川守彦 2008 4p (D.2640月信)
  - ◎ [職業奉仕はロータリーの原点!!]  
道下俊一 2008 5p (D.2500月信)
  - ◎ [職業奉仕と出前授業]  
畑田耕一 2008 3p (D.2660月信)
  - ◎ [職業奉仕について(ガバナーメッセージ)]  
勝野露観 2008 3p (D.2640月信)
  - ◎ [ロータリーの職業倫理訓逐条解説(1)~(6)]  
青木伸翁 2008 6p (D.2770月信7-12月)  
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

2月のロータリーレート 1ドル=88円

# ロータリーカード

財団活動に貢献するカード

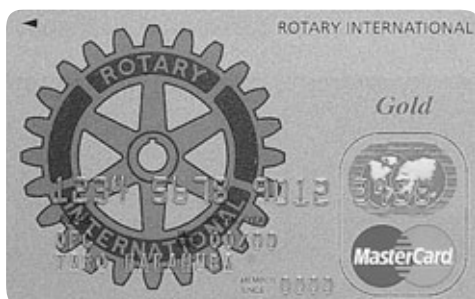
会員の負担なしに財団活動に貢献できるカードはロータリーカードのみであり、その貢献方法は様々です。まず、ロータリーカードのカードショッピングのご利用金額の0.3%が財団に寄付されます。また、ロータリーゴールドカードは年会費10,500円のうち、3,000円が毎年財団に寄付される仕組みになっております。これらの寄付は、今年度からのポリオ1億ドルチャレンジに加算されます。そして、ロータリーカードをご利用した際に貯まるカードのポイントを個人の年次寄付として交換することも可能になりました。これは新しい年次寄付の手段として、とても有効な手段です。

これらの寄付によってカード発行から6年間で、約1,200万円が財団にもたらされました。平成20年度では約450万円が寄付になる予定です。会員ひとりひとりがカードに入会すること利用することで確実に財団活動に貢献しています。

ロータリーカードはクレジットカードとしても非常にクオリティが高く、決してみなさんがお持ちのクレジットカードと比べても機能・特典で劣るものではありません。年会費無料のスタンダードカードであっても海外旅行傷害保障が最高で2,000万円まで付与されております。ゴールドカードは最高5,000万円まで付与されており、他に主要空港での空港ラウンジサービスやロードサービスも付与されております。カードを利用した際に付与されるポイントの還元率も高くスタンダードカードは年間の利用実績に応じて還元率も変化し最大で1.25%になります。ゴールドカードは、初年度から1.25%の還元率を誇っており、ポイントの貯めやすいカードになっております。

先日、各クラブ会長あてにロータリーカードの推進についてご案内文を配布しました。このロータリーカードを第3四半期中に各クラブ3枚の入会をお願いするものです。ロータリーカードの会員数は約5,500枚とロータリアンの数に比べるとまだまだ入会が少ないのが現状です。まずは会員数10,000枚を目指したいと思っておりますのでみなさまのご協力をお願いいたします。

ロータリーのロゴの入ったこのロータリーカードは、ロータリアンの誇りであり、ロータリアンしか持つことのできない会員証のようなものです。ぜひともこの機会にご入会、ご利用をお願いいたします。



● ロータリーカードの特典のご案内・ご入会は ●  
ロータリーカード専用ページ <http://orico.jp/rotary>

● ロータリーカードのお問い合わせは ●  
オリコカードセンター 受付時間9:30~17:30/年中無休 札幌 011-261-6002

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.12.31	増減	内女性		
1	深 川	3	36	36	0	3	90.91	
	羽 幌	4	48	48	0	1	85.35	
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	94.44	
	小 平	3	14	14	0	0	73.81	
	留 萌	4	45	45	0	0	85.23	
	小 計			152	152	0	4	85.95
2	赤 平	3	29	28	-1	1	90.00	
	芦 別	4	44	37	-7	0	91.03	
	砂 川	4	52	55	3	0	94.09	
	滝 川	3	99	100	1	2	82.00	
	小 計			224	220	-4	3	89.28
3	美 唄	4	38	38	0	0	89.50	
	江 別	3	34	34	0	1	98.04	
	江 別 西	3	27	30	3	3	89.99	
	岩 見 沢	3	87	91	4	0	89.48	
	岩 見 沢 東	3	34	34	0	4	91.67	
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.70	
	栗 山	2	26	27	1	2	100.00	
	当 別	3	34	33	-1	0	89.22	
	小 計			303	311	8	11	93.08
	4	札 幌	3	117	124	7	0	97.62
札幌あけぼの		3	18	16	-2	1	100.00	
札幌はまなす		3	25	22	-3	4	85.11	
札 幌 北		4	43	43	0	6	90.52	
札幌モーニング		4	49	51	2	0	66.67	
札 幌 西		3	62	63	1	4	92.07	
札 幌 西 北		4	39	38	-1	5	93.74	
札 幌 手 稲		3	34	34	0	1	94.23	
小 計				387	391	4	21	90.00
5		札 幌 東	4	120	125	5	0	96.00
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00	
	札 幌 幌 南	3	65	65	0	0	100.00	
	札幌真駒内	4	35	35	0	3	92.80	
	札 幌 南	4	92	87	-5	0	99.08	
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	75.00	
	札幌セントラル	3	14	14	0	6	75.70	
	新 札 幌	4	32	30	-2	3	93.19	
	小 計			385	383	-2	18	91.47
6	岩 内	3	21	22	1	0	84.73	
	俱 知 安	4	46	46	0	4	67.60	
	小 樽	3	69	70	1	0	87.69	
	小 樽 南	4	73	73	0	0	89.59	
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	80.00	
	蘭 越	4	11	11	0	0	77.27	
	余 市	4	39	40	1	4	86.80	
	小 計			280	283	3	10	81.95

12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,836人(100人)
増加会員数	20人
当月平均出席率	86.44%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.12.31	増減	内女性		
7	千 歳	3	63	64	1	3	77.60	
	千歳セントラル	3	35	36	1	1	82.30	
	恵 庭	4	39	40	1	0	82.63	
	北 広 島	3	17	17	0	0	90.20	
	長 沼	4	20	20	0	3	84.50	
	由 仁	3	10	11	1	1	83.33	
	小 計			184	188	4	8	83.43
8	え り も	4	22	22	0	0	96.63	
	三 石	4	15	15	0	1	95.00	
	様 似	2	23	24	1	1	94.40	
	静 内	3	72	72	0	1	78.44	
	浦 河	3	34	34	0	2	100.00	
	小 計			166	167	1	5	92.89
	9	伊 達	3	53	56	3	0	80.35
室 蘭		3	43	44	1	0	75.20	
室 蘭 東		3	41	39	-2	0	76.60	
室 蘭 北		3	34	34	0	2	100.00	
登 別		4	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	78.00	
小 計				211	213	2	4	82.34
10	函 館	4	87	88	1	0	78.58	
	函 館 亀 田	5	45	44	-1	2	95.78	
	森	4	34	35	1	0	74.30	
	七 飯	3	16	16	0	0	70.80	
	長 万 部	4	10	10	0	0	67.50	
	函館セントラル	3	24	25	1	1	79.17	
	小 計			216	218	2	3	77.69
11	江 差	3	19	19	0	1	85.00	
	函 館 五 稜 郭	4	55	54	-1	0	99.55	
	函 館 東	4	45	46	1	4	87.43	
	函 館 北	4	30	30	0	0	92.24	
	北 斗	4	19	16	-3	2	67.70	
	松 前	3	5	5	0	0	60.00	
	小 計			173	170	-3	7	81.99
12	白 老	3	26	27	1	0	76.50	
	苫 小 牧	4	50	52	2	2	76.74	
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	84.62	
	苫 小 牧 北	3	34	35	1	2	97.97	
	小 計			135	140	5	6	83.96
合 計			2,816	2,836	20	100	86.44	

## 地区カレンダー（2月・3月）

2月 世界理解月間	
1 (日)	GSE派遣団員選考会
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	建国記念の日
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	GSE派遣団員選考結果発表
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	2009年3月終了米山奨学生歓送会（札幌） 第4・5グループ合同IM（札幌） 第9グループIM（登別）
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	洞爺湖RC創立40周年記念式典（洞爺）
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	次年度ガバナー補佐研修セミナー（砂川） 次年度地区チーム研修セミナー（砂川） 会長エレクト研修セミナー（砂川）

3月 識字率向上月間	
1 (日)	会長エレクト研修セミナー（砂川） 地区財団セミナー、米山セミナー（砂川）
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第7・12グループ合同IM（千歳）
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	札幌東RC創立50周年記念式典（札幌）
14 (土)	
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	
22 (日)	GSE派遣団員第1回研修会
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

## 《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別 RC：2月5日（木）移動例会 12：30～  
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）  
2月19日（木）移動夜間例会「冬の味覚例会」 18：30～  
場所：5丁目花寿し（江別市弥生町12-21）  
2月26日（木）移動例会 12：30～  
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）
- 江別西 RC：2月17日（火）休会
- 長沼 RC：2月16日（月）の例会を下記に変更  
2月15日（日）移動例会（長沼スキー場まつりに参加）
- 室蘭東 RC：2月25日（水）の例会を下記に変更  
2月7日（土）第7回あれこれなんでも相談室  
場所：室蘭市民会館
- 室蘭北 RC：2月17日（火）の例会を下記に変更  
2月21日（土）第9グループIM 場所：ホテル平安  
2月24日（火）夜間例会「クラブフォーラム」 18：30～  
場所：ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧東 RC：2月10日（火）～11日（水）  
移動夜間例会「支笏湖水濤祭り親睦旅行」 17：45～ 例会  
場所：支笏湖温泉休暇村支笏湖（千歳市支笏湖温泉）

## 《地区名簿の訂正について》

上野一義 第10グループ担当ガバナー補佐のメールアドレスをご訂正下さい。  
uekamli@ms6.ncv.ne.jp → uekamli3@msb.ncv.ne.jp

## 編集後記

昨12月13日（土）第1回の次期地区ガバナー補佐会議が開かれた。各グループよりかねてから推薦を受け審議の結果、渡邊ガバナーエレクトが任命したものだ。各地より12名の嬉しい、しかし良識ある人々とお見受けした。塚原地区研修リーダーより、ガバナー補佐としての役割について長時間にわたる研修の後、各人より自己紹介（主として職業とロータリー歴）と抱負を語って戴いた。渡邊GEと神部次期地区代表幹事は緊張につつまれながらも期するものがあるように見てとれる。正月明けには渡邊GEは国際協議会でたつぷりと絞られて帰国の後、新年度に向けて本格スタートを切る予定だ。大いに期待したい。

世界同時不況は正に眼を覆いたくなるようだ。金融破壊が実態経済を押し流し、秋口以降バケツの底が抜けたようだ。加えて円高が更に追い討ちをかける。来年は全体どんな年になるのか。ロータリーレートにしも大きく変わった。年度当初は106円であった。更にその半年前は122円をキープしていた。今はどうだ。2008年12月のレートは96円、1月の実勢は80円台だ。不況は社会現象をも劣化させる。雇用の打ち切り、内定取り消し、商品流通の停滞、犯罪の凶悪化と多発、モラルの欠如等枚挙に

いとまがない。かつて同じ様な不況時に嘆いていたロータリアンに対し、故河邨文一郎PGが「だからロータリーが必要なんだ」と熱っぽく説いていた姿を思い出す。来年こそロータリーの復権を！

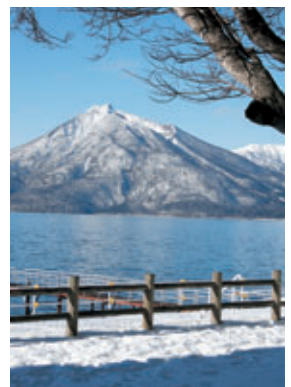
明るく楽しい話題を一席。本号7月号で倶知安RCの斎藤会長に少々触れた。クラブ会長就任と結婚の両手に花という紹介をさせて戴いた。新婚ご夫婦の希望はトワイライトエクスプレスのスイートロイヤルでの新婚旅行だ。しかし仲々切符がとれない。鉄道マニア垂涎的だ。尋常では駄目だと見かねた第6グループガバナー補佐の佐藤君が勇気を出しグループ全員に激をとばし協力を求めた。発売日受付時間午前9時に全員が電話で一斉に予約を入れる。数十名の規模でだ。全国の鉄道マニアを向こうにまわし何回もトライしたが空振り三振の連続だ。結局徒労に終わった。これだけの話なのだが後日談がある。矢橋ガバナーがある席でこの話をしたところ、同席していたさるやんごとなきお方がロータリアンの友情にひどく心を動かされ、後日、斎藤会長夫妻に予約をプレゼントしたという噂を耳にした。しかし確認はとれてはいない。（大金）

### ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512  
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510  
2008～2009  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：支笏洞爺国立公園  
支笏湖より恵庭岳を望む  
撮影：田宮哲夫 札幌西RC